

市議会・モニター意見交換会報告書

1 開催日時 令和5年10月16日(月) 14:00~15:00

2 開催場所 市役所3階 第2委員会室

3 参加モニター数 3人

4 参加議員 矢田松夫、岡山明、中島好人、松尾数則

5 意見交換会の主な内容

[モニター] モニター意見交換会において発言した内容が取り上げられていない理由を明らかにしてほしい。

[事務局] モニターの方の意見は、要点を報告書に載せるが、今後、広聴特別委員会で精査し、内容に漏れがないようにするよう検討する。

[モニター] 1年に一度は意見交換会で取り上げられた内容、取り上げられなかった内容について理由を含めて報告してほしい。

[事務局] 報告は回答で示している。実現したこと、実現しなかった内容をはっきり分かる状況にして、説明できるように今後検討していきたい。

6 要望・意見など

[モニター] 小中学生との意見交換会よりは、教育現場の先生との意見交換会が必要だと思う。

[議員] 今は、教育委員会と相談しているが、先生との意見交換会は新たな試みであり、検討したい。

[モニター] モニターの意見は、担当部署に送って検討するとのことだが、広聴特別委員が所管の委員会に出席して内容を確認すれば、時間的ロスをなくせるのでは。

[事務局] 今は、要点を委員会に説明しているが、広聴特別委員が委員会に出向いて議論を行うことも可能であるので、検討したい。

- ・議会報告会は今後も継続してほしい。
- ・Webアンケートを取ったらどうか(ユーチューブをどうやったら見るのか等)
- ・年に一度は座談会的な会議の場を設けてほしい。

7 今後、検討すべき意見

- ・意見交換会で取り上げられなかった理由を明らかにしてほしい。
- ・教育現場の先生との意見交換会が必要。
- ・Webアンケートを取ったらどうか(ユーチューブをどうやったら見るのか等)
- ・年に一度は座談会的な会議の場を設けてほしい。

市議会・モニター意見交換会報告書

1 開催日時 令和5年10月16日(月) 18:00 ~ 20:00

2 開催場所 市役所3階 第2委員会室

3 参加モニター数 4人

4 参加議員 矢田松夫、岡山明、宮本政志、前田浩司

5 意見交換会の主な内容

[モニター] 9月6日の委員会を傍聴し、議論の中での議員の発言に執行部との馴れ合いを感じた。他市町の議会を見学し勉強を重ね、自分たちで何ができるか、議員として自覚を持って討論に望んでほしい。

[議員] 議員に必要な知識、能力の向上を図るため、議会アドバイザーによる議員研修を今月末に計画している。

[モニター] 議会だよりの視察報告を見て、視察に行く目的は一体何であるのか。視察で学んだことは何かあるのか。執行部に提言したことは何かあるのか。もっと効果的、具体的に伝える内容にできないものかと感じた。

[モニター] 何でモニター制度を作ったのか。設置要綱第1条に「市民からより信頼される議会となるため」と書かれている。市民と共に歩むのであれば、議会だよりに市民の声を載せるべきではないか。

[モニター] 議会で公聴会を開ける制度があるが、もっと市民の意見を聞くなど、活用すべきではないか。

[モニター] 議会運営委員会の議事録を見て、違和感を覚えた。議長任期2年を正式な議題とすることに問題はないか。何らかの根拠があれば示してほしい。

6 要望・意見など

- ・議会だよりの視察報告に関し、もっと効果的、具体的な内容となるように期待したい。
- ・市民の声、モニターの声をもっと議会だよりに載せるべきではないか。
- ・意見を議会での議論に反映できるよう、公聴会をもっと活用すべきではないか。

7 今後、検討すべき意見

- ・議会運営委員会での正式な議題として、議長任期を2年にすることに問題はないのか。
- ・議会だよりの視察報告に関し、もっと効果的、具体的な内容となるように期待したい。
- ・市民の声、モニターの声をもっと議会だよりに載せるべきではないか。
- ・意見を議会での議論に反映できるよう、公聴会をもっと活用すべきではないか。

市議会・モニター意見交換会報告書

1 開催日時 令和5年10月17日（火）14：00～15：30

2 開催場所 市役所3階 第2委員会室

3 参加モニター数 2人

4 参加議員 矢田松夫、吉永美子、前田浩司、岡山明

5 意見交換会の主な内容

[モニター] 一般質問について、今回は興味がある話ではなかった。農業関係者としては、異常気象・温暖化対策・SDGsの質問も議員には取り上げてほしい。

[モニター] 一般質問で下を向いて話される議員がいる。原稿を見ながらでは、議員の顔が見えない、声を通らない、思いが伝わらないのではないか。

[議員] 質問している姿を市民にしっかりと訴えていく。

[モニター] 議会における専門用語や会議の最初での委員会名は略式名とせず、正式名で話していただきたい。（民福ではなく、民生福祉常任委員会と表現していただきたい。）

[モニター] 議場開放、中学生による議会傍聴、中学生議会のような取組を進めていただきたい。児童生徒が議員に一問一答するような形式での対話方式での質問会のようなものはどうか。

[事務局] 小学生の職場体験会があり、議場の見学も予定にあったようだが、時間の都合上中止となったようである。身近に感じられる取組への試みがあったようである。

[議員] 生徒等、若者たちにも、より親しみと関心を持っていただけるように、やり方を工夫しながら、身近に議会が感じられるように進めていく。

[モニター] 議場や委員会室での中継時に、同時文字起こしはできるのか。

[事務局] 話し言葉等、音声から正確に文字を起こすのに、既存のシステムでは問題があり、今後の検討課題である。

[モニター] 車椅子エリアでは議員の顔が見えづらく、見えやすい場所に移動したくなるが、エリア内で移動しても問題ないか。

[事務局] 会議をじゃまするための移動ではないので、問題ない。

[モニター] 議場における手話の導入はどうか。

[議 員] 手話言語条例を制定したが、議会としての取組は進んでいない。

[モニター] 障がい者への配慮が必要であり、私たちの気配りも大事であると自覚している。

6 要望・意見など
なし

7 今後、検討すべき意見
制定した手話言語条例にのっとして、議会としての取組を検討すべきである。